



Syllabus

授業詳細

開講年度	2017	開講学期	前学期
開講学部等	農学部	授業科目区分	
科目ナンバリング	AgR1A-8AGR-005	時間割番号	16a01
対象学生		対象年次	1～4
科目名[英文名]	現代農業論 [Modern agriculture theory]	単位数	2
担当教員[ローマ字表記]	上野 秀人, 片岡 圭子, 森本 哲夫, 胡 柏, 渡部 保夫, 寺下 太郎, 日鷹 一雅, 羽藤 堅治, 菅原 卓也, 治多 伸介, 山田 寿, 松原 孝博, 村 浩美, 福垣内 暁, 都築 勇人 [UENO Hideto, KATAOKA Keiko, MORIMOTO Tetsuo, HU Bai, WATANABE Yasuo, TERASHITA T, HIDAKA Kazumasa, HATO Kenji, SUGAHARA Takuya, HARUTA Shinsuke, YAMADA Hisashi, MATSUBARA Takahiro, UCHIMURA Hiromi, FUKUGAICHI Satoru, TSUZUKI Hayato]		

授業題目

現代農業論(Modern agriculture theory)

授業のキーワード

食料 (Agricultural Science)、生命 (Life Science)、環境 (Environmental Science)

授業の目的

生命現象及び循環・再生の概念について理解したことを基にして、生物生産技術の開発と普及、生物資源の利用と管理、環境の保全と創生などに関する基礎的な知識・技術について説明できるようにする。さらに、地域社会や国際社会における食料・生命・環境に関する様々な問題を解決するために、自然と人間が調和する循環型社会の創造に貢献する手法について説明できるようにする。

授業の到達目標

1. 生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給について説明できる。
2. 生命機能の解明と生物資源の利用について説明できる。
3. 生物環境の創造・修復・保全・管理・利用について説明できる。

ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標) / 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

(知識・理解) 生物生産技術の開発と普及、生物資源の利用と管理、環境の保全と創生などに関する専門知識と技術を修得している。

(思考・判断) 循環型社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、資源、環境に関連する諸課題の原因を論

理的に説明でき、解決策を見出すことができる。

(関心・意欲、態度) 上記の諸課題を解決するため、協調性と高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。

愛媛大学学生として期待される能力(愛大学生コンピテンシー)に関わる項目

必要な情報を収集・整理できる

個別の知識や技能を相互に関連づけながら習得できる

習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現(記述・口述)できる

広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる

科学的根拠に基づき判断し、解決策を提示できる

授業概要

生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する知識を修得する。また、地域的な視点と国際的な視野から食料、生命、環境に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献する手法について、自ら考える、行動するための素養を身につける。

授業スケジュール

農学部(農学研究科)、および農学部(農学研究科)附属施設の教員による以下のようなリレー講義です。

- 第1回 4月13日「愛媛大農学部での学び～ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、カリキュラムマップ～」 杉森正敏農学部長
- 第2回 4月20日「畜産学への招待-食べ物としての動物」 農業生産学コース 牧野良輔先生
- 第3回 4月27日「食料生産における植物工場について」 植物工場システム学コース 有馬誠一先生
- 第4回 5月11日「現代農業と現代農業経営」 食料生産経営学コース 胡 柏先生
- 第5回 5月18日「微生物の持つ酵素の力を生かす」 応用生命化学コース 渡辺誠也先生
- 第6回 5月25日「現代の林業について」 森林資源学コース 寺下太郎先生
- 第7回 6月1日「水を使う」 地域環境工学コース 大上博基先生
- 第8回 6月8日「沿岸海洋の物質循環と持続的利用」 環境保全学コース 鈴木 聡先生
- 第9回 6月15日「スマート農業と農業6次産業化」 知能的食料生産学特別コース(植物工場研究センター) 羽藤堅治先生
- 第10回 6月22日「柑橘の機能性評価研究と商品開発」 健康機能栄養科学特別コース(食品健康科学研究センター) 菅原卓也先生
- 第11回 6月29日「農村における水環境再生の重要性と課題」 水環境再生科学特別コース(環境先端技術センター) 治多伸介先生
- 第12回 7月6日「農学部における農場の役割」 農学部附属農場 山田 寿先生
- 第13回 7月13日「水産資源の保全と持続的利用」 水圏生産学コース(南予水産研究センター) 松原孝博先生
- 第14回 7月20日「バイオマス利用産業としての紙産業」 バイオマス資源学コース(紙産業イノベーションセンター) 内村浩美先生・福田内 暁先生
- 第15回 7月27日「「大学の森」演習林への招待/森林利用と環境保全」 農学部附属演習林/森林環境管理学サブコース

鍋嶋絵理先生/山田容三先生

授業時間外学習にかかわる情報

上記授業スケジュールを参考に自己学習に努めてください。

成績評価方法

毎回の講義内容に関するレポート・小テストで以下のように評価する。

6点×15回×100/90

受講条件

-

受講のルール

-

教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	-	ISBN	-
	著者名	-	出版社	-

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	-	ISBN	-
	著者名	-	出版社	-

教科書・参考書に関する補足情報

-

参考書に関する図書館への連絡事項（この欄は学生から参照することはできません）

-

オフィスアワー

上野秀人 水曜日午後4時00分～5時30分

Eメールアドレス

ueno.hideto.mx@ehime-u.ac.jp

連絡先

上野 秀人 農学部本館南棟5階507号室 電話089-946-9808

参照ホームページ

その他

[↑ページの先頭](#)